

「田検中学校の送り節（シマ唄）伝承活動の取組」

1. 学校名	宇検村立田検中学校
2. 学年・人数	1～3年生 19人
3. 日時・場所	(1) 練習日時・場所 毎月末 8:15～8:25 本校多目的ホール (2) 発表の日時・場所 令和7年3月12日 卒業式の退場 本校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 送り節（おくりぶし） (2) 由 来 いつから歌われているのか不詳であるが、以前は奄美大島各地で歌われていた。集落から旅立つ人へ向けて、気持ちよく送り出して、また帰って来たら快く迎えますよと唄ったもの。 (3) 構成等 チデンを使ってリズムをとったシマ唄で、1番から3番までで構成されている。1番は集落から旅立つ人を見送るもの。2番は豊年祭の振り出しの時に唄うもの。3番は、旅立つ人のことと思って唄われるものである。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	奄美大島から無くなりそうな送り節を、校区内集落（田検集落）の轟会と連携して継承している。朝の活動の時間に取り組み、講師は集落の方々である。関わっている全員の負担にならないように、毎月最終金曜日の朝の時間に活動すると決めている。卒業を祝って、卒業式の卒業生退場のとき唄い、保護者や地域の方々に披露している。今後も継続して、地域と連携して送り節（シマ唄）を継承する体制を整えている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 送り節の練習の様子  後輩の唄を聞き退場を待つ卒業生
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【生徒】 ・ 地域の方々が優しく、丁寧に教えてくださるし、地域の伝統文化だから残していくことが大事だと思う。 ・ 私たちが引き継いでいかないと、無くなってしまうかもしれないので、これからもしっかり練習して、唄えるようになりたい。 ・ 最初は唄えなかったけど、練習していくうちに唄えるようになってきたので、しっかり唄って伝統を引き継いでいきたい。 【地域】 ・ 練習する度に上手になっているし、学校に来ることがなくなったので、また来られて、中学生と歌えることが嬉しい。 ・ 送り節を中学生が唄ってくれることがとても嬉しい。これからも喜んで協力するので、大人になってからも唄ってほしい。